

放尿課題 介護チェック表

現在、実施しているケアを確認しましょう。

記入者氏名 _____ 記入日 _____

高齢者氏名 (_____) ◆身体機能 (自立・やや機能低下) ◆認知症重症度(日常生活自立度判定基準)(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ)

状況 ○○さんは、廊下の端や庭のすみっこなど、トイレ以外のところであちこちにおしっこをさせていただきます。

要注意!! こんなケアしてませんか?

- 本人任せにして放っておいていませんか? ◆排泄に関する行為は、他人にみられたくない、知られたくない、プライバシーに関わる部分です。本人の羞恥心や自尊心を尊重し、辱めたり、自尊心を傷つけるような言葉や関わり方は禁物です。
- 強制的に声かけしたり、しかったり、どなったりしてませんか? ◆排泄の失敗に対してなじったり、怒ったり、辱めたりするとそれがきっかけで排泄への恐怖心や抵抗感ができてきてしまいます。排泄は身体を健康に保つために必要な生理的な機能ですから、スムーズな排泄を支援することが重要です。
- 失敗がみんなに知れるような言動はしていませんか? ◆排泄後の後始末や処理をせずに放っておくと、不潔な状態になり、疾患の原因となります。排泄の失敗を放っておいたり、怒鳴ったりせずに、まずは本人の衛生状態を保ち、清潔にすることを優先しましょう。
- 無理失理、別室へ連れて行ったりしていませんか?
- バケツを持って追いかけていませんか?

- ケア方針**
- ◎排泄とは、人にとってとても繊細な部分ですので、羞恥心や自尊心、倫理面での配慮を大切にしながら関わっていきましょう。
 - ◎どんなにいいことだと思っても介護者側の思いを押し付けしないで、本人の思いとの折り合いをつけていきましょう。
 - ◎排泄の感覚や頻度を把握したうえで、その人の表情や様子をよく見てみましょう。(とにかく見る知る)

確認部位	アセスメントチェック <small>ここを確認しましたか?</small>	ケアの方向性	実際の取り組み例 (ガイドライン参照項目)
排泄パターン ●排泄間隔 ○排泄頻度 ○スタッフの声かけ内容・見守り方	<input type="checkbox"/> 排泄間隔の 패턴がわからない	◇排尿は、したくない時には出ないし、膀胱にたまっていないと出ないものです。本人の排泄パターンを把握してタイミングよく声かけや見守りをお願いします。「あなたは私の顔を見るたびにトイレ、トイレという」など、相手に不快に思われないようにしましょう。	時間を決め、定期的にトイレ誘導を行った。 <input type="checkbox"/> p.172-0-1
	<input type="checkbox"/> 排泄頻度が少ない		夜間居室から出てくるたびにトイレ誘導を行った。 <input type="checkbox"/> p.172-0-2
間隔頻度 ●排泄間隔 ○スタッフの声かけ内容・見守り方 ○排泄頻度 ○本人の気持ち、意志 ○尿意・排泄感覚	<input type="checkbox"/> 排泄の間隔が空きすぎている	◇排泄の間隔や頻度にとらわれすぎず、本人の気持ちや意志への働き掛けを忘れないようにしましょう。	誘導回数を増やした。 <input type="checkbox"/> p.172-0-1
	<input type="checkbox"/> スタッフの声かけ内容・見守り方がよくない		ざりげなく声かけ誘導を行った。 <input type="checkbox"/> p.172-0-2
	<input type="checkbox"/> 排泄の頻度が少ない		表情と行動パターンを観察した。 <input type="checkbox"/> p.172-0-2
	<input type="checkbox"/> 本人の気持ち、意志がすぐれない		タイミングを検討した。 <input type="checkbox"/> p.172-0-1
失禁・尿意 ●排泄・排尿時間 ○排泄間隔 ○尿意・排泄感覚 ○失禁の有無 ○水分状態 ○本人の気持ち、意志	<input type="checkbox"/> 尿意・排泄の感覚がほとんどない	◇失禁したあとと気持ちが悪いという感覚があるかどうかを確認しましょう。失敗をことさら強調しないような配慮をしましょう。	丁寧にくどくならないように繰り返し説明した。 <input type="checkbox"/> p.172-0-3
	<input type="checkbox"/> スタッフの声かけ内容・見守り方がよくない		廊下をウロウロし始めるタイミングで誘導した。 <input type="checkbox"/> p.172-0-2
	<input type="checkbox"/> 本人の気持ち、意志がすぐれない		お茶などの水分を多く取った後にトイレ誘導を行った。 <input type="checkbox"/> p.172-0-1
	<input type="checkbox"/> 水分不足になっている		夜間起きてくる気配を感じたら訪室して誘導するようにした。 <input type="checkbox"/> p.172-0-2
	<input type="checkbox"/> 本人の気持ち、意志がすぐれない		

確認部位	アセスメントチェック <small>ここを確認しましたか?</small>	ケアの方向性	実際の取り組み例 (ガイドライン参照項目)
尿意 ●尿意・排泄感覚 ○本人の気持ち、意志 ○スタッフの声かけ内容・見守り方	<input type="checkbox"/> 尿意や排泄の感覚がほとんどない	◇まずは、本人に「おしっこがしたい、トイレに行きたいかどうか」を聞いてみましょう。言葉だけで尿意の有無はわからないこともあります。安易に尿意がないと決めてしまわずに、本人の「尿意」の表現を見つけて支援していきましょう。	股間に手を持ってじっくりお尻をもじもじさせたりなど動作を観察した。 <input type="checkbox"/> p.172-0-2
	<input type="checkbox"/> 本人の気持ち、意志がすぐれない		居室より出てこられたら、トイレ誘導を行った。 <input type="checkbox"/> p.172-0-2
排泄習慣 ●生活状況(数日内) ○排泄・排尿時間 ○排泄間隔 ○睡眠時間・状況	<input type="checkbox"/> スタッフの声かけ内容や見守り方がよくない	◇1週間くらい期間を決めて集中して観察しましょう。その上で、何時どんな場面で放尿につながるのかを確認しましょう。場面場面をよく見ていくと改善の糸口が見えてくるでしょう。特に、放尿の前の様子をよく観察しましょう。	繰り返し説明。 <input type="checkbox"/> p.172-0-3
	<input type="checkbox"/> 排泄、排尿の時間が不明である		食事の前に誘導を行った。 <input type="checkbox"/> p.172-0-1
	<input type="checkbox"/> 排泄の間隔がわからない		食事の後に誘導を行った。 <input type="checkbox"/> p.172-0-1
様子 ●生活状況(数日内) ○排泄・排尿時間 ○排泄間隔 ○睡眠時間・状況	<input type="checkbox"/> ここ数日内の生活状況で変わった事がある	◇本人が発信する表情やしぐさを私たちが日ごろ使う言語に置き換えてみましょう。	就寝前に誘導を行った。 <input type="checkbox"/> p.172-0-1
	<input type="checkbox"/> 睡眠時間が不足している		入浴前に誘導を行った。 <input type="checkbox"/> p.172-0-1
表情様子 ●スタッフの声かけ内容・見守り方 ○スタッフとの関係 ○放尿時の様子 ○放尿時の表情	<input type="checkbox"/> 放尿時の表情や様子を確認していない	◇本人が発信する表情やしぐさを私たちが日ごろ使う言語に置き換えてみましょう。	専門の病院を受診し排尿コントロールした。 <input type="checkbox"/> p.176-0-1
	<input type="checkbox"/> スタッフの声かけ内容や見守り方がよくない		おむつから布パンツに変更した。 <input type="checkbox"/> p.176-0-3
様子 ●放尿時の様子 ○本人の気持ち、意志 ○尿意・排泄感覚 ○排泄場所 ○スタッフの声かけ内容・見守り方	<input type="checkbox"/> スタッフとの関係がよくない	◇落ち着かない様子が見えたら本当はその場所で排泄したくないのかもしれないし、堂々とトイレ以外の場所で排泄していい、その場所が排泄する場所であることを確信しているのかもしれない。その時々状況を見ながら声かけや誘導をしていきましょう。	表情と行動パターンの観察を行った。 <input type="checkbox"/> p.172-0-2
	<input type="checkbox"/> 放尿時の様子を確認していない		ベランダ(放尿先)に向かわれようとした時にトイレ誘導した。 <input type="checkbox"/> p.172-0-2
様子 ●放尿時の様子 ○本人の気持ち、意志 ○尿意・排泄感覚 ○排泄場所 ○スタッフの声かけ内容・見守り方	<input type="checkbox"/> 本人の気持ち、意志がすぐれない	◇本人の姿勢、目の高さ、明かり、色などに配慮しながら工夫してみましょう。	徘徊時、行動の見守り、観察した。 <input type="checkbox"/> p.172-0-2
	<input type="checkbox"/> 尿意や排泄の感覚がほとんどない		
トイレ環境 ●トイレの表示 ○トイレの場所 ○トイレの扉	<input type="checkbox"/> 排泄場所がわかりにくい	◇本人の姿勢、目の高さ、明かり、色などに配慮しながら工夫してみましょう。	
	<input type="checkbox"/> 尿意や排泄の感覚がほとんどない		
トイレ環境 ●トイレの表示 ○トイレの場所 ○トイレの扉	<input type="checkbox"/> 排泄場所がわかりにくい	◇本人が認識しているトイレの場所や形が違うかもしれないという視点は大切です。そんな視点で対応してみましょう。	常に誰か職員が見守ったり一緒にいられる環境を作った。 <input type="checkbox"/> p.175-0-5
	<input type="checkbox"/> 尿意や排泄の感覚がほとんどない		夜間、職員が目が届きやすい居室に替えた。 <input type="checkbox"/> p.175-0-5
トイレ場所 ●トイレの場所 ○排泄場所 ○排泄・排尿時間 ○歩行・下肢機能 ○本人の気持ち、意志	<input type="checkbox"/> 本人の気持ち、意志がすぐれない	◇本人が認識しているトイレの場所や形が違うかもしれないという視点は大切です。そんな視点で対応してみましょう。	夜間、居室の様子が変わるように戸を少し開けていた。 <input type="checkbox"/> p.175-0-6
	<input type="checkbox"/> 下肢機能が低下し、歩行ができない		トイレ表示の工夫をした。 <input type="checkbox"/> p.174-0-3
トイレ場所 ●トイレの場所 ○排泄場所 ○排泄・排尿時間 ○歩行・下肢機能 ○本人の気持ち、意志	<input type="checkbox"/> 本人の気持ち、意志がすぐれない	◇本人が認識しているトイレの場所や形が違うかもしれないという視点は大切です。そんな視点で対応してみましょう。	トイレ洗浄液を色の濃いものにした。 <input type="checkbox"/> p.175-0-7
	<input type="checkbox"/> 下肢機能が低下し、歩行ができない		夜、トイレだけ電気をつけ廊下は少し暗めにする事で分かりやすくした。 <input type="checkbox"/> p.175-0-4
トイレ場所 ●トイレの場所 ○排泄場所 ○排泄・排尿時間 ○歩行・下肢機能 ○本人の気持ち、意志	<input type="checkbox"/> 本人の気持ち、意志がすぐれない	◇本人が認識しているトイレの場所や形が違うかもしれないという視点は大切です。そんな視点で対応してみましょう。	ベッドの向きを変え自宅の環境(ベッドからみてトイレの方向を同じ方向へ)へ調整した。 <input type="checkbox"/> p.174-0-1
	<input type="checkbox"/> 下肢機能が低下し、歩行ができない		居室の扉を少し開き廊下の電気を明るくしてトイレに誘導できるようにした。 <input type="checkbox"/> p.175-0-4

確認部位	アセスメントチェック <small>ここを確認しましたか?</small>	ケアの方向性	実際の取り組み例 (ガイドライン参照項目)
尿意 ●尿意・排泄感覚 ○本人の気持ち、意志 ○スタッフの声かけ内容・見守り方	<input type="checkbox"/> 尿意や排泄の感覚がほとんどない	◇まずは、本人に「おしっこがしたい、トイレに行きたいかどうか」を聞いてみましょう。言葉だけで尿意の有無はわからないこともあります。安易に尿意がないと決めてしまわずに、本人の「尿意」の表現を見つけて支援していきましょう。	股間に手を持ってじっくりお尻をもじもじさせたりなど動作を観察した。 <input type="checkbox"/> p.172-0-2
	<input type="checkbox"/> 本人の気持ち、意志がすぐれない		居室より出てこられたら、トイレ誘導を行った。 <input type="checkbox"/> p.172-0-2
排泄習慣 ●生活状況(数日内) ○排泄・排尿時間 ○排泄間隔 ○睡眠時間・状況	<input type="checkbox"/> スタッフの声かけ内容や見守り方がよくない	◇1週間くらい期間を決めて集中して観察しましょう。その上で、何時どんな場面で放尿につながるのかを確認しましょう。場面場面をよく見ていくと改善の糸口が見えてくるでしょう。特に、放尿の前の様子をよく観察しましょう。	繰り返し説明。 <input type="checkbox"/> p.172-0-3
	<input type="checkbox"/> 排泄、排尿の時間が不明である		食事の前に誘導を行った。 <input type="checkbox"/> p.172-0-1
	<input type="checkbox"/> 排泄の間隔がわからない		食事の後に誘導を行った。 <input type="checkbox"/> p.172-0-1
様子 ●生活状況(数日内) ○排泄・排尿時間 ○排泄間隔 ○睡眠時間・状況	<input type="checkbox"/> ここ数日内の生活状況で変わった事がある	◇本人が発信する表情やしぐさを私たちが日ごろ使う言語に置き換えてみましょう。	就寝前に誘導を行った。 <input type="checkbox"/> p.172-0-1
	<input type="checkbox"/> 睡眠時間が不足している		入浴前に誘導を行った。 <input type="checkbox"/> p.172-0-1
表情様子 ●スタッフの声かけ内容・見守り方 ○スタッフとの関係 ○放尿時の様子 ○放尿時の表情	<input type="checkbox"/> 放尿時の表情や様子を確認していない	◇本人が発信する表情やしぐさを私たちが日ごろ使う言語に置き換えてみましょう。	専門の病院を受診し排尿コントロールした。 <input type="checkbox"/> p.176-0-1
	<input type="checkbox"/> スタッフの声かけ内容や見守り方がよくない		おむつから布パンツに変更した。 <input type="checkbox"/> p.176-0-3
様子 ●放尿時の様子 ○本人の気持ち、意志 ○尿意・排泄感覚 ○排泄場所 ○スタッフの声かけ内容・見守り方	<input type="checkbox"/> 本人の気持ち、意志がすぐれない	◇落ち着かない様子が見えたら本当はその場所で排泄したくないのかもしれないし、堂々とトイレ以外の場所で排泄していい、その場所が排泄する場所であることを確信しているのかもしれない。その時々状況を見ながら声かけや誘導をしていきましょう。	徘徊時、行動の見守り、観察した。 <input type="checkbox"/> p.172-0-2
	<input type="checkbox"/> 尿意や排泄の感覚がほとんどない		
トイレ環境 ●トイレの表示 ○トイレの場所 ○トイレの扉	<input type="checkbox"/> 排泄場所がわかりにくい	◇本人の姿勢、目の高さ、明かり、色などに配慮しながら工夫してみましょう。	常に誰か職員が見守ったり一緒にいられる環境を作った。 <input type="checkbox"/> p.175-0-5
	<input type="checkbox"/> 尿意や排泄の感覚がほとんどない		夜間、職員が目が届きやすい居室に替えた。 <input type="checkbox"/> p.175-0-5
トイレ場所 ●トイレの場所 ○排泄場所 ○排泄・排尿時間 ○歩行・下肢機能 ○本人の気持ち、意志	<input type="checkbox"/> 本人の気持ち、意志がすぐれない	◇本人が認識しているトイレの場所や形が違うかもしれないという視点は大切です。そんな視点で対応してみましょう。	夜間、居室の様子が変わるように戸を少し開けていた。 <input type="checkbox"/> p.175-0-6
	<input type="checkbox"/> 下肢機能が低下し、歩行ができない		トイレ表示の工夫をした。 <input type="checkbox"/> p.174-0-3
トイレ場所 ●トイレの場所 ○排泄場所 ○排泄・排尿時間 ○歩行・下肢機能 ○本人の気持ち、意志	<input type="checkbox"/> 本人の気持ち、意志がすぐれない	◇本人が認識しているトイレの場所や形が違うかもしれないという視点は大切です。そんな視点で対応してみましょう。	トイレ洗浄液を色の濃いものにした。 <input type="checkbox"/> p.175-0-7
	<input type="checkbox"/> 下肢機能が低下し、歩行ができない		夜、トイレだけ電気をつけ廊下は少し暗めにする事で分かりやすくした。 <input type="checkbox"/> p.175-0-4
トイレ場所 ●トイレの場所 ○排泄場所 ○排泄・排尿時間 ○歩行・下肢機能 ○本人の気持ち、意志	<input type="checkbox"/> 本人の気持ち、意志がすぐれない	◇本人が認識しているトイレの場所や形が違うかもしれないという視点は大切です。そんな視点で対応してみましょう。	ベッドの向きを変え自宅の環境(ベッドからみてトイレの方向を同じ方向へ)へ調整した。 <input type="checkbox"/> p.174-0-1
	<input type="checkbox"/> 下肢機能が低下し、歩行ができない		居室の扉を少し開き廊下の電気を明るくしてトイレに誘導できるようにした。 <input type="checkbox"/> p.175-0-4

確認部位	アセスメントチェック <small>ここを確認しましたか?</small>	ケアの方向性	実際の取り組み例 (ガイドライン参照項目)
尿意 ●尿意・排泄感覚 ○本人の気持ち、意志 ○スタッフの声かけ内容・見守り方	<input type="checkbox"/> 尿意や排泄の感覚がほとんどない	◇まずは、本人に「おしっこがしたい、トイレに行きたいかどうか」を聞いてみましょう。言葉だけで尿意の有無はわからないこともあります。安易に尿意がないと決めてしまわずに、本人の「尿意」の表現を見つけて支援していきましょう。	股間に手を持ってじっくりお尻をもじもじさせたりなど動作を観察した。 <input type="checkbox"/> p.172-0-2
	<input type="checkbox"/> 本人の気持ち、意志がすぐれない		居室より出てこられたら、トイレ誘導を行った。 <input type="checkbox"/> p.172-0-2
排泄習慣 ●生活状況(数日内) ○排泄・排尿時間 ○排泄間隔 ○睡眠時間・状況	<input type="checkbox"/> スタッフの声かけ内容や見守り方がよくない	◇1週間くらい期間を決めて集中して観察しましょう。その上で、何時どんな場面で放尿につながるのかを確認しましょう。場面場面をよく見ていくと改善の糸口が見えてくるでしょう。特に、放尿の前の様子をよく観察しましょう。	繰り返し説明。 <input type="checkbox"/> p.172-0-3
	<input type="checkbox"/> 排泄、排尿の時間が不明である		食事の前に誘導を行った。 <input type="checkbox"/> p.172-0-1
	<input type="checkbox"/> 排泄の間隔がわからない		食事の後に誘導を行った。 <input type="checkbox"/> p.172-0-1
様子 ●生活状況(数日内) ○排泄・排尿時間 ○排泄間隔 ○睡眠時間・状況	<input type="checkbox"/> ここ数日内の生活状況で変わった事がある	◇本人が発信する表情やしぐさを私たちが日ごろ使う言語に置き換えてみましょう。	就寝前に誘導を行った。 <input type="checkbox"/> p.172-0-1
	<input type="checkbox"/> 睡眠時間が不足している		入浴前に誘導を行った。 <input type="checkbox"/> p.172-0-1
表情様子 ●スタッフの声かけ内容・見守り方 ○スタッフとの関係 ○放尿時の様子 ○放尿時の表情	<input type="checkbox"/> 放尿時の表情や様子を確認していない	◇本人が発信する表情やしぐさを私たちが日ごろ使う言語に置き換えてみましょう。	専門の病院を受診し排尿コントロールした。 <input type="checkbox"/> p.176-0-1
	<input type="checkbox"/> スタッフの声かけ内容や見守り方がよくない		おむつから布パンツに変更した。 <input type="checkbox"/> p.176-0-3
様子 ●放尿時の様子 ○本人の気持ち、意志 ○尿意・排泄感覚 ○排泄場所 ○スタッフの声かけ内容・見守り方	<input type="checkbox"/> 本人の気持ち、意志がすぐれない	◇落ち着かない様子が見えたら本当はその場所で排泄したくないのかもしれないし、堂々とトイレ以外の場所で排泄していい、その場所が排泄する場所であることを確信しているのかもしれない。その時々状況を見ながら声かけや誘導をしていきましょう。	徘徊時、行動の見守り、観察した。 <input type="checkbox"/> p.172-0-2
	<input type="checkbox"/> 尿意や排泄の感覚がほとんどない		
トイレ環境 ●トイレの表示 ○トイレの場所 ○トイレの扉	<input type="checkbox"/> 排泄場所がわかりにくい	◇本人の姿勢、目の高さ、明かり、色などに配慮しながら工夫してみましょう。	常に誰か職員が見守ったり一緒にいられる環境を作った。 <input type="checkbox"/> p.175-0-5
	<input type="checkbox"/> 尿意や排泄の感覚がほとんどない		夜間、職員が目が届きやすい居室に替えた。 <input type="checkbox"/> p.175-0-5
トイレ場所 ●トイレの場所 ○排泄場所 ○排泄・排尿時間 ○歩行・下肢機能 ○本人の気持ち、意志	<input type="checkbox"/> 本人の気持ち、意志がすぐれない	◇本人が認識しているトイレの場所や形が違うかもしれないという視点は大切です。そんな視点で対応してみましょう。	夜間、居室の様子が変わるように戸を少し開けていた。 <input type="checkbox"/> p.175-0-6
	<input type="checkbox"/> 下肢機能が低下し、歩行ができない		トイレ表示の工夫をした。 <input type="checkbox"/> p.174-0-3
トイレ場所 ●トイレの場所 ○排泄場所 ○排泄・排尿時間 ○歩行・下肢機能 ○本人の気持ち、意志	<input type="checkbox"/> 本人の気持ち、意志がすぐれない	◇本人が認識しているトイレの場所や形が違うかもしれないという視点は大切です。そんな視点で対応してみましょう。	トイレ洗浄液を色の濃いものにした。 <input type="checkbox"/> p.175-0-7
	<input type="checkbox"/> 下肢機能が低下し、歩行ができない		夜、トイレだけ電気をつけ廊下は少し暗めにする事で分かりやすくした。 <input type="checkbox"/> p.175-0-4
トイレ場所 ●トイレの場所 ○排泄場所 ○排泄・排尿時間 ○歩行・下肢機能 ○本人の気持ち、意志	<input type="checkbox"/> 本人の気持ち、意志がすぐれない	◇本人が認識しているトイレの場所や形が違うかもしれないという視点は大切です。そんな視点で対応してみましょう。	ベッドの向きを変え自宅の環境(ベッドからみてトイレの方向を同じ方向へ)へ調整した。 <input type="checkbox"/> p.174-0-1
	<input type="checkbox"/> 下肢機能が低下し、歩行ができない		居室の扉を少し開き廊下の電気を明るくしてトイレに誘導できるようにした。 <input type="checkbox"/> p.175-0-4

確認部位	アセスメントチェック <small>ここを確認しましたか?</small>	ケアの方向性	実際の取り組み例 (ガイドライン参照項目)
環境	場所 ●排泄場所 ○スタッフの声かけ内容・見守り方 ○トイレの場所 ○トイレの表示 ○スタッフとの関係 ○見当識	◇トイレは御不浄ともいい、人が忌み嫌う場所であったり、排泄行為同様あまり人に見られたくない場所でもあるので、あまり人目に付く状況は、好ましくないように思います。ケアのためとはいえ、配慮が必要ではないかと思えます。そんな考え方から家具調ポータルトイレなどができたのかな？	放尿する場所に神様を現す鳥居を作った。 <input type="checkbox"/> p.176-0-2 神社の鳥居のイラストを貼った(排尿場所に)。 <input type="checkbox"/> p.176-0-2 放尿してしまう場所に花や絵を飾った。 <input type="checkbox"/> p.176-0-2
	表示 ●トイレの表示 ○スタッフの声かけ内容・見守り方 ○本人の気持ち、意志 ○生活習慣(ここ数年)	◇基本的には、その人の生活背景や持っている力、癖や趣味などを参考にすると良いでしょう。文字や絵、形や配置など、工夫のヒントは、街の中がたくさんあります。お店の看板なんかを見てみましょう。	トイレに「小便小ぞうの絵」を掲げた。 <input type="checkbox"/> p.174-0-3 トイレがわかるように表示した。 <input type="checkbox"/> p.174-0-3 夜間、電燈をつけておいた(誘導灯)。 <input type="checkbox"/> p.175-0-4
職員との関係	スタッフ関係 ●スタッフとの関係 ○スタッフの声かけ内容・見守り方 ○本人の気持ち、意志 ○気分	◇「ダメでしょう」「違います」といった否定や非難をしないかわりをしましょう。また、職員同士で話し合いの機会を持ち知恵を出し合しましょう。	何故放尿してしまうのか、理由付けを職員同志ミーティングを行った。 <input type="checkbox"/> p.172-0-2 夜間の放尿が多かったため、熟睡できるよう放尿前の環境を整えた(就寝前の入浴、足浴、布団乾燥で布団をあたためる)など。 <input type="checkbox"/> p.176-0-4 1日15分はマンツーマンに対応(寂しさ、不安の軽減)。 <input type="checkbox"/> p.175-0-5

現在の状態は
どうですか

◎トイレ以外で放尿する回数

放尿回数 回/日

◎ケアをしたときの表情

- 笑顔がみられる… 悲しそうである…
- 穏やかである… 苦しそうである…
- 落ち着いている… 怒っている…
- 集中している… 泣いている…

◎行動やしぐさの様子

- そわそわしている…
- 寝ている…
- 無関心である…
- 同じ動作の繰り返し…